

28年度 見附市教育センター 第2回 4時から夢塾



日時：平成28年5月20日(金)16:00～16:45

会場：見附市役所4階 大会議室

テーマ：「師がく」実施前の心得(授業改善)」

「師がく」が実施される前に、昨年度まで指導者として学校を訪問し指導された講師から実施にあたっての心得を学びました。

今年度の「師がく」受講を意義あるものにするための考えや方法を確認しました。

講師：長谷川 清様(前見附市立見附小学校長)

<講座の概要>



(1) 特色ある研修制度

この「師がく」という研修は、見附市が誇る伝統的な研修制度である。見附市に勤める一人一人の教師の授業力を向上させるために8年前から実施されている。この研修制度のよさは、以下の3点である。①全員対象で行われることが他に類を見ない素晴らしさである。②1回だけでなく年間2回行うところに意味や意義がある。③マンツーマン指導で行うことで、指導者と受講者のいい信頼関係ができる。

(2) 出会った授業に学ぶ

3年間で125名のべ250時間の授業を参観して、授業観察や記録写真をもとに授業者とともに、授業分析をしてきた。授業後の授業分析を進めながら、受講される教員の皆さんが満足される終わり方ができることを心がけてきた。笑顔で終わる気を喚起できたと感じることができたときは、心地よい喜びを感じることができた。授業が変わり、子どもの笑顔が変わり、子どもの笑顔の質が変わってきていることはうれしい限りである。

(3) 心に残る授業

心に残る授業がいくつもあった。学習課題が魅力的であり、追究したくなるものなど学習課題に工夫が見られること授業を活性化させる。学習課題や「今日の◎」を意識しながら授業を参観してきた。子どもの実態を踏まえながら、子どもと共に「今日の◎」を作りながら授業を進めていく授業が今も心に残っている。

<参加者の声>

○今年、見附に寄せてもらったのですが、「師がく」の実際が分かり、見通しをもつことができました。校内でも教師間で、このようなことができるとよいと思いました。

○マンツーマンでご指導を受けることができるのは、とても恵まれていると思います。日頃の自分の授業を見直すよい機会にしていきたいです。これまでの授業の様子、内容をみせていただき勉強になりました。

○教科関係なく、全ての教科の授業に共通して必要だと考えられる要素を教えていただき、とても参考になりました。過去に参観された授業のよい部分の説明もありがたくみせていただきました。

○授業づくりの土台には、教師と子どもたちの信頼関係があるということ、子どもたちが「やらされている学び」ではなく、「考えたい、やってみたい」と心から思ったときに、本当の身になる学びが生まれることを再認識しました。明日からの実践に役立たせます。

○様々な先生の授業を紹介していただき、とても参考になりました。聞くほどに「自分にはできそうもないな」と思うほど不安になりましたが、この師がくを通してアクティブ・ラーナーに一歩でも近づければと思います。貴重なお話をありがとうございました。

○「師がく」での実践を紹介していただき参考になりました。特に最後の「教師がアクティブ・ラーナーになる」という言葉が印象に残りました。

○よそゆきの授業でなく、日々の授業に生かせる具体的な、さらに職員のもち味を生かしたご指導をいただける師がくを楽しみにしています。